

## 常務理事会

(第45事業年度・第11回

平成23年2月15日常務理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

### 審議事項

1. IFRS財団の次期戦略に対する協会コメントの取りまとめに関する件

平成22年11月5日付けでIFRS財団評議員会から公表された「IFRS財団の次期戦略についての意見募集」に対する協会意見を取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2. 業種別委員会からの答申に関する件

- (1) 業種別委員会報告第40号「金融商品取引業者における顧客資産の分別管理の法令遵守に関する検証業務の取扱いについて」の改正について
- (2) 業種別委員会研究報告第7号「証券会社における顧客資産の分別管理に関する合意された手続業務について」の改正について

金融商品取引業等に関する内閣府令の改正を受け、業種別委員会報告第40号「金融商品取引業者における顧客資産の分別管理の法令遵守に関する検証業務の取扱いについて」及び業種別委員会研究報告第7号「証券会社における顧客資産の分別管理に関する合意された手続業務について」を改正する旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

3. 会計制度委員会からの答申に関する件

- (1) 「改訂連結原則の適用初年度における資本連結手続に関するQ&A」等の廃止について
- (2) IASB公開草案「保険契約」に対する意見に関する追加説明の提示について

過去に公表された実務指針等について見直した結果、現在においてはその役割を終了したものと考えられるため、

「改訂連結原則の適用初年度における資本連結手続に関するQ&A」等を廃止する旨、また、平成22年12月6日付けで日本公認会計士協会から提出したIASB公開草案「保険契約」に対する意見に関し、国際会計基準審議会より意見の詳細説明を求める依頼を受けたため、具体的設例示を提示する旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

4. 公会計委員会からの答申『「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針』の一部改訂に関する件

平成23年1月14日に「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」が改訂されたことを受け、『「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針』を一部改訂する旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

### 報告事項

1. IAASBオーランド会議報告に関する件
2. 日印ダイアログ予備会合報告に関する件

平成22年12月6日から10日にかけてオーランドにおいて開催されたIAASB会議について、また、平成23年1月5日にインドにおいて開催された日印ダイアログ予備会合についてそれぞれ報告があった。

このほか、主な審議・報告事項は次のとおりです。

監査・保証実務委員会からの意見具申に関する件

- (1) 「会社計算規則の一部を改正する省令案」に対する意見について

- (2) 「財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制に関する内閣府令(案)」等に対する意見について

職業倫理集合研修会等の有料化に関する件

監査業務モニター会議活動報告に関する件

## 理事会

(第45事業年度・第9回

平成23年2月16日理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

### 会長報告

山崎会長から配付資料に基づき、公認会計士制度改革の経緯と議論のポイント、上場会社監査事務所登録制度と東京証券取引所上場制度整備の関連性等、最近の事業及び会務の運営状況について、会則第95条に基づく報告があった。続いて、池田唯一金融庁総務企画局参事官及び齋藤馨金融庁総務企画局開示業務室長から、公認会計士制度の見直しについて説明があり、質疑応答を行った。その後、会長報告について協議を行った。

### 審議事項

1. 公認会計士試験・資格制度の見直しに関する件

今般の公認会計士試験・資格制度の見直しに対する協会のスタンスについて説明があり、審議の上、記名投票が行われた。その結果、協会のスタンスは承認された。なお、賛成50名、反対14名、棄権1名であった。

以上

( 総務本部長 柏原 治 )